

じぢけん 黒潮ニュース 第2号

2008（平成20）年1月11日 （社）高知県自治研究センター 黒潮町研究員

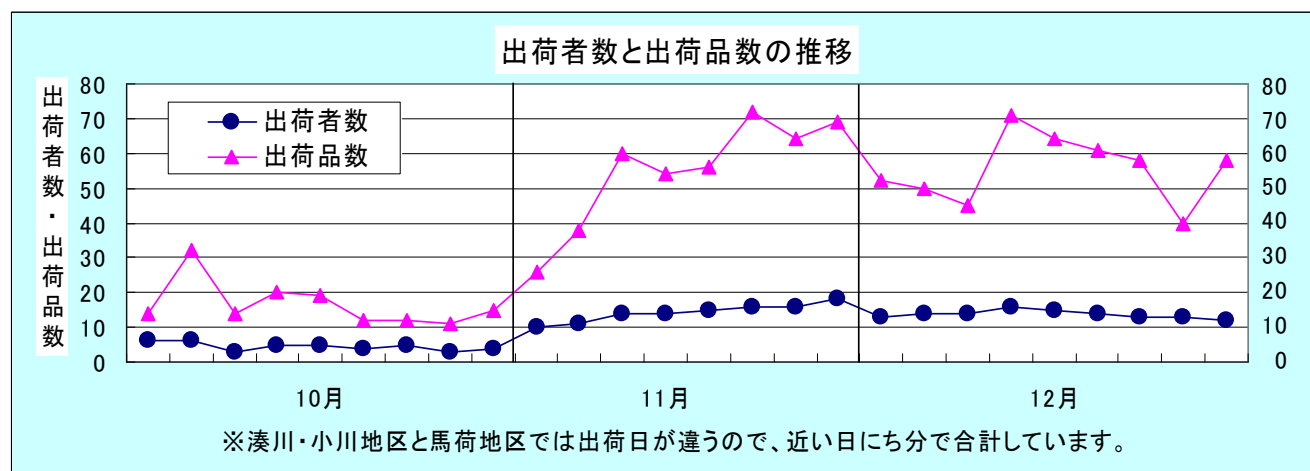
延長決定！ 来年度も9月末まで集荷サービス続けます

4月以降も半年間、実証実験を延長します

昨年12月21日に（社）自治研究センターの理事会が開かれ、これまでの研究結果の報告をして、4月から半年間の集荷実証実験の延長を認めていただきました。

春以降の出荷にむけて、植え付けなどの準備をしている方、どうぞご安心ください。

◆集荷サービス利用状況（10～12月）◆



10月から始まった集荷サービスの利用状況（出荷者数と出荷品数）をグラフにしました。最初は湊川地区だけでしたが、11月から馬荷地区が加わり、出荷者・出荷品が次第に増えています。12月に入って少し落ち着いてきたようですが、おおよそ15人で60品くらいが安定して出荷されています。

Tさんによると、「品物が多い日にはトラックが満杯になる」ようで、みなさんが活用してくれることを、Tさんをはじめ、研究員もみな喜んでいるところです。

これからも、出荷サービスをどんどん利用してくださいね！

ちゃん情報！

ビジネスサポーター Tさん

- 🔴 12月末の売れ筋は「サカキ」と「ハナシバ」でした！
- 🔴 売れ残りがあつたら、量はそのまま、値段を“ちょっと安め”にしてみても？ 値段と量の調整がうまくできると、きっと売れますよ！
- 🔴 同じ野菜でも、ひと手間かけて漬物などにすると、また売れたりしますよ。

アンケートにご協力ありがとうございました

昨年12月1日(土)・2日(日)に、一緒に研究をしている高知大学鈴木ゼミの教授と学生たち、黒潮町の研究員、高知県自治研究センター職員で、小川・湊川・馬荷・御坊畑の集荷実験参加者を訪問し、アンケート調査を行いました。

集荷実験を始めてから、出荷を行った方、そうでない方、両方から聞き取りし、率直なご意見や感想・要望など、参考となるお話をたくさん聞くことができました。

お忙しい中、どなたも快くご協力いただきまして、本当にありがとうございました。



高知大生と研究員一同



2日(日)の朝は、馬荷地区の集荷にも同行しました。まだ夜が明ける前からの集荷は大変ですが、たくさんの品物が出されていると、とってもうれしく、励みになります！



★次回のアンケートは3月の予定です。またのご協力をよろしくお願いいたします★

ご意見・お問合せはこちら

- 黒潮町研究員（畦地・友永・山崎・福岡） 電話 43-2111（黒潮町役場内）
- ビジネスサポーター Tさん 電話 43-xxxx（自宅）